

BS1スペシャル

「それでもジャーナリストは戦場に立つ」

放送：6月1日（土）後7：00～8：50（ニュース中断あり）

戦争報道で、欧米とは違う、日本人しか伝えられないことがあるはず。その原点はベトナム戦争だった。敗戦国日本のジャーナリストたちは、攻撃される市民の本当の姿を伝えようと、北爆にさらされるハノイに入り、西側メディアとして世界に先がけて爆撃の被害を受ける市民の映像を発信した。湾岸戦争では、欧米政府の監視・規制の下ではない独自の戦争の姿を追い続け、悲惨な戦場の真実を伝えた。

2012年8月、シリアの内戦取材中、戦闘に巻き込まれたジャーナリスト山本美香さんが亡くなった。「戦場にも普通の人々の暮らしがあることを知ってほしい」、最前線で市井の人々を撮影し続けた彼女には、日本の戦場ジャーナリストたちがこだわり続けた目線が息づいていた。

**シリアで銃弾に倒れた
ジャーナリスト山本美香さん**



満島ひかりさん

シリアの内戦で、山本さんも、最後まで攻撃にさらされ被害を受ける市民にカメラを向け続けた。そして、今も日本の戦場ジャーナリストたちは、敵味方や戦いの正当性さえ失われた最前線で日々葛藤を続けている。

「自らの命を危険にさらしてまで、なぜ戦場に向かうのか?」、女優の満島ひかりさん演じるジャーナリスト志望の若者が、山本美香さんをはじめ日本人ジャーナリストの足跡をたどる。



**満島ひかりさん演じるジャーナリスト志望の若者は
ヨルダンのシリア難民キャンプで子供たちと出会う**

テレビ放送60年を迎える今、日本人だからこそ伝え続けた戦争の姿を貴重な映像とジャーナリストたちの証言とともに見つめる。